

(講座)臨床薬学 (研究室)薬剤学
(氏名)中村純三 (職名)教授

【研究テーマ】

1. 薬物の消化管からの吸収と代謝に関する研究
2. 薬物の臓器表面からの吸収に関する研究
3. 副作用の軽減を目的とした最適な薬物治療法の開発

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. Ryu Hirayama, Koyo Nishida, Shintaro Fumoto, Mikiro Nakashima, Hitoshi Sasaki and Junzo Nakamura: Unilateral kidney-selective gene transfer following the administration of naked plasmid DNA to the kidney surface in mice, *Biological & Pharmaceutical Bulletin*, 28 (1), 181-184 (2005). (IF: 1.392)
2. Koyo Nishida, Manabu Kamenosono, Akiko Kuma, Shintaro Fumoto, Takahiro Mukai, Mikiro Nakashima, Hitoshi Sasaki and Junzo Nakamura: Delivery advantage to the unilateral kidney by direct drug application to the kidney surface in rats and pharmacokinetic verification based on a physiological model, *Journal of Drug Targeting*, 13 (4), 215-223 (2005). (IF: 1.907)
3. Junzo Nakamura, Kazuko Kobayashi, Shintaro Fumoto, Junya Nishi, Takahiro Mukai, Mikiro Nakashima, Hitoshi Sasaki and Koyo Nishida: Stomach- and site-selective delivery of 5-fluorouracil following its application on the gastric serosal surface in rats, *Biological & Pharmaceutical Bulletin*, 28 (6), 1049-1053 (2005). (IF: 1.392)
4. Koyo Nishida, Akiko Kuma, Shintaro Fumoto, Mikiro Nakashima, Hitoshi Sasaki and Junzo Nakamura: Absorption characteristics of model compounds from the small intestinal serosal surface and a comparison with other organ surfaces. *Journal of Pharmacy and Pharmacology*, 57 (8), 1073-1077 (2005). (IF: 1.348)
5. Koyo Nishida, Rie Fujiwara, Yukinobu Kodama, Shintaro Fumoto, Takahiro Mukai, Mikiro Nakashima, Hitoshi Sasaki and Junzo Nakamura: Regional delivery of model compounds and 5-fluorouracil to the liver by their application to the liver surface in rats: its implication for clinical use, *Pharmaceutical Research*, 22 (8), 1331-1337 (2005). (IF: 2.325)
6. Ryu Hirayama, Shintaro Fumoto, Koyo Nishida, Mikiro Nakashima, Hitoshi Sasaki and Junzo Nakamura: Effect of solution composition of plasmid DNA on gene transfection following liver surface administration in mice, *Biological & Pharmaceutical Bulletin*, 28 (11), 2166-2169 (2005). (IF: 1.392)

B 邦文

(B-a) 原著論文

1. 樋口則英、小嶺嘉男、濱本知之、北原隆志、河浪梨恵、西田孝洋、中村純三、中嶋幹郎、一川暢宏、佐々木均:高カロリー輸液無菌調製における異物混入の原因に関する調査解析、*医療薬学*、31、211-216 (2005).
2. 樋口則英、濱本知之、津田佳代子、江頭かの子、中村純三、中嶋幹郎、一川暢宏、佐々木均:総合ビタミン配合型高カロリー輸液キット製剤導入に伴う問題点の調査、*日本病院薬剤師会雑誌*、41、1245-1248 (2005).

【学会発表】

A 国際学会

(A-b) 一般講演

1. M. Nakashima, N. Taketa, H. Fukuchi, H. Watanabe, H. Terazono, N. Ichikawa, K. Nishida, J. Nakamura and H. Sasaki: Effects of adipocytokines on CYP mRNA expression and drug metabolism in HepG2, The 13th NA ISSX/the 20th JSSX Meeting, Abstracts p204, Maui, USA (2005).
2. M. Teshima, K. Kashiwagi, K. Nishida, J. Nakamura, T. Kitahara, N. Ichikawa, M. Nakashima and H. Sasaki: Optimization of prednisolone pharmacokinetics by sterically stabilized liposomes, The 13th NA ISSX/the 20th JSSX Meeting, Abstracts p277, Maui, USA (2005).

B 国内学会

(B-b) 一般講演

1. 手嶋無限、柏木 香、西田孝洋、中村純三、一川暢宏、中嶋幹郎、佐々木均:パルミトイル化プレドニゾロン封入リポソームのラット静脈内投与後の体内動態、*日本薬剤学会第20年会講演要旨集*、p168、東京 (2005).
2. 中嶋幹郎、川上 恵、一川暢宏、西田孝洋、中村純三、谷山紘太郎、北岡 隆、佐々木均:抗アレルギー点眼剤の角膜障害性に関する電気生理学的研究、*日本薬剤学会第20年会講演要旨集*、p278、東京 (2005).
3. 兒玉幸修、武田典子、福地弘充、寺菌英之、篠原一之、西田孝洋、中村純三、一川暢宏、中嶋幹郎、佐々木均:アディポサイトカインの薬物代謝酵素に及ぼす影響、*日本薬学会第125年会講演要旨集2*、p120、東京 (2005).
4. 手嶋無限、中村 優、西田孝洋、中村純三、一川暢宏、中嶋幹郎、佐々木均: Plasmid DNA/polyethylenimine 複合体およびアニオン性高分子を用いた三重複合体による HepG2 細胞への遺伝子導入、*日本薬学会第125年会講演要旨集2*、p144、東京 (2005).
5. 西田孝洋、和田光弘、麓伸太郎、中村純三:薬物動態解析および統計処理能力の向上を目指した系統的な情報処理教育の試み、*日本薬学会第125年会講演要旨集3*、p.197、東京 (2005).
6. 西田孝洋、和田光弘、麓伸太郎、中村純三:薬学6年制へ向けた系統的な情報処

理教育の試み:薬物動態および統計処理を中心として、医療薬学フォーラム 2005 講演要旨集、p.282、鹿児島 (2005).

7. 木下真理子、堀下美由紀、麓伸太郎、西田孝洋、中嶋幹郎、佐々木均、中村純三:粘性添加剤による抗癌薬 5-fluorouracil の肝臓表面からの吸収動態制御、第 21 回日本 DDS 学会予行集 Drug Delivery System、20 (3)、p.356、長崎 (2005).
8. 嶺 豊春、土井健志、中島由希子、中村純三、中村忠博、中嶋幹郎、一川暢宏、佐々木均:長崎大学医学部・歯学部附属病院におけるガチフロ錠の適正使用に関する調査、医療薬学フォーラム 2005 講演要旨集、p178、鹿児島 (2005).
9. 手嶋無限、柏木 香、西田孝洋、中村純三、北原隆志、一川暢宏、中嶋幹郎、佐々木均:脂質組成の異なる PEG 修飾リポソームを用いた薬物体内動態制御の試み、第 21 回日本 DDS 学会予行集 Drug Delivery System、20、p320、長崎 (2005).
10. 多田勇己、吉田昇平、一川暢宏、西田孝洋、中村純三、中嶋幹郎、佐々木均:非ウイルスベクターを用いた遺伝子デリバリーへの病態の影響:四塩化炭素誘発肝障害マウスにおける検討、第 21 回日本 DDS 学会予行集 Drug Delivery System、20、p340、長崎 (2005).
11. 柏木 香、下寺陽恵、手嶋無限、一川暢宏、西田孝洋、中村純三、中嶋幹郎、佐々木均:生体膜親和性脂質添加カチオン性リポソームを用いた新規遺伝子ベクターの探索、第 21 回日本 DDS 学会予行集 Drug Delivery System、20、p369、長崎 (2005).
12. 西田孝洋、稲岡奈津子、三宅秀明、坂本竜一、岡崎円香、柴田敏之、麓伸太郎、中嶋幹郎、佐々木均、中村純三:低体温療法時の体内動態変動予測を目的とした各種モデル薬物の体内動態の解析、第 15 回日本医療薬学会年会講演要旨集、p.282、岡山 (2005).
13. 田代浩幸、宮崎長一郎、池崎隆司、博多屋幸治、山形浩介、中村忠博、中嶋幹郎、和田光弘、西田孝洋、中村純三、永田修一、佐々木均、天本祐世、中村博:職能向上へ向けた新たな研修計画「長崎県薬剤師アドバンス研修プログラム」について、第 38 回日本薬剤師会学術大会講演要旨集、p.199、広島 (2005).
14. 濱本知之、土持真由美、樋口則英、森田光貴、西田孝洋、中村純三、中嶋幹郎、一川暢宏、佐々木均:院内製剤 5%ハイドロキノン軟膏の使用状況とその有用性に関する検討、第 38 回日本薬剤師会学術大会講演要旨集、p411、広島 (2005).
15. 渡部紘子、武田典子、福地弘充、寺菌英之、篠原一之、西田孝洋、中村純三、一川暢宏、中嶋幹郎、佐々木均:薬物代謝酵素の発現に及ぼすアディポサイトカインの影響、第 15 回日本医療薬学会年会講演要旨集、p234、岡山 (2005).
16. 川上 恵、中嶋幹郎、北原隆志、一川暢宏、西田孝洋、中村純三、谷山紘太郎、北岡 隆、佐々木均:抗アレルギー点眼薬の角膜上皮バリアーに対する影響-新しい評価システムによる検討-、第 22 回日本薬学会九州支部大会講演要旨集、p32、福岡 (2005).
17. 西順也、西田孝洋、麓伸太郎、中嶋幹郎、佐々木均、中村純三:臓器選択的な消失過程の阻害に基づく新規 DDS の開発:Probenecid の臓器表面投与に関する基礎的検討、第 22 回日本薬学会九州支部大会講演要旨集、p.33、福岡 (2005).

18. 土持真由美、麓伸太郎、西田孝洋、中嶋幹郎、佐々木均、中村純三:プラスミド DNA の肝臓表面への微量滴下による肝臓内部位特異的遺伝子導入、第 22 回日本薬学会九州支部大会講演要旨集、p.34、福岡 (2005).
19. 中島由希子、西田孝洋、麓伸太郎、中嶋幹郎、佐々木均、中村純三:マーカー物質の透過性を指標とした腹膜肥厚の評価法、第 22 回日本薬学会九州支部大会講演要旨集、p.35、福岡 (2005).
20. 津田佳代子、西田孝洋、麓伸太郎、中嶋幹郎、佐々木均、中村純三:肝臓表面からの薬物吸収動態に及ぼす病態の影響、第 22 回日本薬学会九州支部大会講演要旨集、p.36、福岡 (2005).

【研究費取得状況】

1. 癌病巣部位への制癌剤の選択的集積を目的とした肝臓表面投与方法の開発; 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(C))

【学会役員等】

1. 中村純三・教授、日本薬剤学会評議員、平成 13 年 2 月～
2. 中村純三・教授、日本 DDS 学会評議員、平成 15 年 6 月 21 日～
3. 中村純三・教授、文部科学省 科学技術政策研究所 科学技術動向研究センター 科学技術専門家ネットワーク専門調査員、平成 14 年 4 月 1 日～

【過去の研究業績統計】

| | | |
|------|-----------|---------|
| 原著論文 | (欧文)124 編 | (邦文)3 編 |
| 総説 | (欧文) 3 編 | (邦文)1 編 |
| 著書 | (欧文) 3 編 | (邦文)2 編 |
| 紀要 | (欧文) 1 編 | (邦文)4 編 |
| 特許 | | 1 件 |